

私の略歴と主な出版物

下 村 裕

略 歴

出 自

1961 年 1 月 京都市生まれ

学 歴

1976 年 4 月 京都市立日吉ヶ丘高等学校入学
 1979 年 3 月 京都市立日吉ヶ丘高等学校卒業
 1980 年 4 月 東京大学理科二類入学
 1984 年 3 月 東京大学理学部物理学科卒業，理学士号取得
 1984 年 4 月 東京大学大学院理学系研究科物理学専門修士課程入学
 1986 年 3 月 東京大学大学院理学系研究科物理学専門修士課程修了，理学
 修士号取得
 1986 年 4 月 東京大学大学院理学系研究科物理学専門博士課程入学
 1989 年 3 月 東京大学大学院理学系研究科物理学専門博士課程修了，理学
 博士号取得

職 歴

1989 年 4 月 東京大学理学部助手就任
 1991 年 3 月 東京大学理学部助手退任
 1991 年 4 月 慶應義塾大学専任講師（法学部）就任

- 1995 年 4 月 慶應義塾大学助教授（法学部）昇任
2000 年 4 月 慶應義塾大学教授（法学部）昇任
2000 年 4 月 英国ケンブリッジ大学クレアホール Visiting Fellow（兼任）就任
2001 年 3 月 英国ケンブリッジ大学クレアホール Visiting Fellow（兼任）退任
2006 年 10 月 慶應義塾志木高等学校校長（兼任）就任
2007 年 4 月 東京大学教養学部（前期課程）非常勤講師（兼任）就任
2011 年 4 月 中央大学経済学部兼任講師（兼任）就任（現在に至る）
2012 年 9 月 慶應義塾志木高等学校校長（兼任）退任
2013 年 10 月 慶應義塾大学法学部日吉主任就任
2017 年 9 月 慶應義塾大学法学部日吉主任退任
2025 年 3 月 東京大学教養学部（前期課程）非常勤講師（兼任）退任
2025 年 3 月 慶應義塾大学教授（法学部）退任（選択定年退職）
2025 年 4 月 常磐大学・常磐短期大学学長就任（現在に至る）

学会及び社会における活動等

- 1985 年—2022 年 一般社団法人 日本物理学会 会員
1991 年—2020 年 一般社団法人 日本流体力学会 会員
2009 年—2011 年 財団法人 吉田育英会 評議員
2011 年—2021 年 法務省 司法試験予備試験審査委員
2011 年—現在 公益財団法人 吉田育英会理事
2024 年—現在 学校法人 常磐大学理事
2025 年—現在 慶應義塾大学 名誉教授

賞 罰

- 2008 年 11 月 平成 20 年度 義塾賞（慶應義塾）受賞
『『ケンブリッジの卵—回る卵はなぜ立ち上がりジャンプするのか』に至る回転卵運動に対する一連の力学的研究』

主な業績

学術論文

- ・ “Statistical analysis of anisotropic turbulent viscosity in a rotating system”, Journal of the Physical Society of Japan, 1986 年 6 月, 共著.
- ・ “Two-scale direct-interaction approach to the turbulent scalar flux in a rotating system”, Journal of the Physical Society of Japan, 1986 年 10 月, 単著.
- ・ “Statistical analysis of magnetohydrodynamic turbulent shear flows at low magnetic Reynolds number”, Journal of the Physical Society of Japan, 1988 年 7 月, 単著.
- ・ “A statistically derived two-equation model of turbulent shear flows in a rotating system”, Journal of the Physical Society of Japan, 1989 年 2 月, 単著.
- ・ “Large eddy simulation of magnetohydrodynamic turbulent channel flows under a uniform magnetic field”, Physics of Fluids A, 1991 年 12 月, 単著.
- ・ “Subgrid-scale algebraic stress model of turbulence”, Journal of the Physical Society of Japan, 1994 年 1 月, 単著.
- ・ “A theoretical study of the turbulent diffusion in incompressible shear flows and in passive scalars”, Physics of Fluids, 1998 年 10 月, 単著.
- ・ “A family of dynamic subgrid-scale models consistent with asymptotic material frame indifference”, Journal of the Physical Society of Japan, 1999 年 8 月, 単著.
- ・ “Turbulent transport modeling in low Mach number flows”, Physics of Fluids, 1999 年 10 月, 単著.
- ・ “The performance of dynamic subgrid-scale models in the large eddy simulation of rotating homogeneous turbulence”, Physics of Fluids, 2001 年 8 月, 共著.
- ・ “Spinning eggs - a paradox resolved”, Nature, 2002 年 3 月, 共著.
- ・ “Inapplicability of the dynamic Clark model to the large eddy simulation of incompressible turbulent channel flows”, Physics of Fluids, 2003 年 3 月, 共著.
- ・ “Response to ‘Comment on ‘Inapplicability of the dynamic Clark model to the large eddy simulation of incompressible turbulent channel flows’”, Physics of Fluids, 2004 年

2 月, 共著.

- “Dynamics of an axisymmetric body spinning on a horizontal surface. I. Stability and the gyroscopic approximation.”, Proceedings of the Royal Society A, 2004 年 12 月, 共著.
- “Dynamics of an axisymmetric body spinning on a horizontal surface. II. Self-induced jumping”, Proceedings of the Royal Society A, 2005 年 6 月, 共著.
- “Dynamics of an axisymmetric body spinning on a horizontal surface. III. Geometry of steady state structures for convex bodies”, Proceedings of the Royal Society A, 2006 年 2 月, 共著.
- “A new methodology for Reynolds-averaged modeling based on the amalgamation of heuristic-modeling and turbulence-theory methods”, Physics of Fluids, 2006 年 3 月, 共著.
- “Can a spinning egg really jump?”, Proceedings of the Royal Society A, 2006 年 10 月, 共著.
- “Dynamics of an axisymmetric body spinning on a horizontal surface. IV. Stability of steady spin states and the ‘rising egg’ phenomenon for convex axisymmetric bodies”, Proceedings of the Royal Society A, 2006 年 11 月, 共著.
- “A Reynolds-averaged turbulence modelling approach to the maintenance of the Venus superrotation”, Geophysical & Astrophysical Fluid Dynamics, 2013 年 8 月, 共著.
- “Cyclone-anticyclone asymmetry in gravity wave radiation from a co-rotating vortex pair in rotating shallow water”, Journal of Fluid Mechanics, 2015 年 6 月, 共著.

紀要等

- 「単純明快『 $\sqrt{2}$ の値を求める方法』」, 教養論叢, 1995 年 8 月, 単著.
- “Effects of the Air Chamber and the Shape on the Rising Motion of a Spinning Egg”, 教養論叢, 2005 年 2 月, 単著.
- 「日本刀の安定配置交換と打撃の中心」, 教養論叢, 2008 年 10 月, 共著.
- 「よく鳴る風鈴の力学的考察」, 法學研究, 2009 年 1 月, 単著.
- 「走り抜けるよりベースタッチが早いヘッドスライディングの方法」, 教養論

叢, 2015 年 2 月, 単著.

著 書

- ・『演習 力学 [新訂版]』, サイエンス社, 2006 年 9 月, 共著.
- ・『ケンブリッジの卵——回る卵はなぜ立ち上がりジャンプするのか』, 慶應義塾大学出版会, 2007 年 7 月, 単著.
- ・『卵が飛ぶまで考える: 物理学者が教える発想と思考の極意』, 日本経済新聞出版, 2013 年 8 月, 単著.
- ・『犬も歩けば物理にあたる——解き明かされる日常の疑問』, 慶應義塾大学出版会, 2014 年 9 月, 単著 (抄訳).
- ・『力学』, 共立出版, 2021 年 12 月, 単著.

その他の著作

- ・「流体系における自励振動」, パリティ, 丸善株式会社, 1989 年 4 月, 単著 (翻訳).
- ・「立ち上がる回転ゆで卵の解」, パリティ, 丸善株式会社, 2003 年 3 月, 単著.
- ・「立ち上がり跳躍する回転ゆで卵」, 日本物理学会誌, 日本物理学会, 2007 年 9 月, 単著.
- ・「グラフや画像が示す回転卵の運動」, 数理科学, サイエンス社, 2009 年 1 月, 単著.
- ・「身近にある科学の謎を楽しむ」, 日経サイエンス, 日経サイエンス, 2009 年 7 月, 共著.
- ・『『新 物理の散歩道〈第 3 集〉』 卷末エッセー』, 筑摩書房, 2009 年 12 月, 単著.
- ・「力学と行列 回転運動を例に」, 数理科学, サイエンス社, 2010 年 7 月, 単著.
- ・「剛体の力学 水平面上で高速回転する軸対称剛体の運動」, 数理科学, サイエンス社, 2021 年 4 月, 単著.